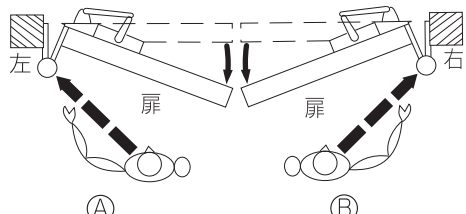


説明書は、右開き勝手扉について図示してありますので、左開き勝手扉の場合は、本図と左右対称の位置となるように取り付けてください。

1

### 扉の開き勝手

必ず吊元（丁番軸）の見える側または、扉を引いて開ける側に立ったときに吊元が



左に見えるものを 左開き勝手扉  
右に見えるものを 右開き勝手扉

- 本体および付属部品には、左右の勝手がありませんが、扉の開き勝手によって、取り付ける向きが異なります。
- 左図の開き勝手区分①または②によって、正しい向きに取り付けてください。
  - 中心吊では、左図の開き方向に合わせてください。

### 扉のどちら側に取り付けるか

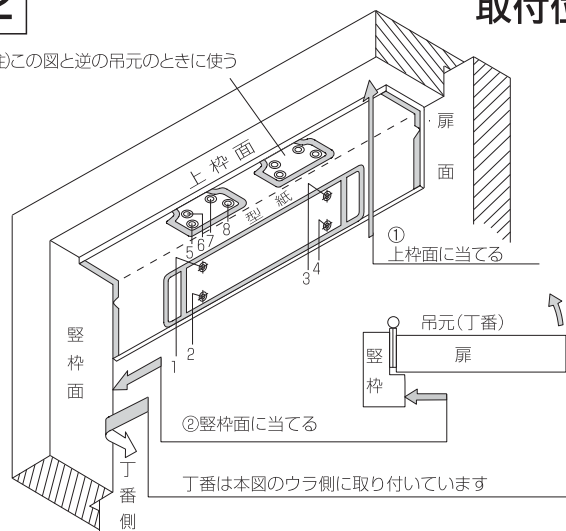
- クローザ本体は、左図のように丁番の反対側に取り付けてください。

**注意事項** 平行取付型と標準取付型とはドアクローザ本体が異なりますのでご注意ください。

2

### 取付位置の決め方

(注)この図と逆の吊元のときに使う



- 添付の「平行取付用型紙」を扉面にぴったり当てて、取付穴の位置を決めてください。
- そのとき、型紙①部を上枠面に、型紙②部を縦枠面にぴったり当てて、穴位置を決めてください。
- ネジ穴数は8ヶ所です。

#### L型アームブラケットの場合

- 添付の取付用型紙を左図のように扉面および上枠面にぴったり当てて、取付穴の位置を決めてください。(ネジ穴数は8ヶ所です。)
- そのとき、型紙の端を縦枠面にぴったり当てて、穴位置を決めてください。

#### A型アームブラケットの場合

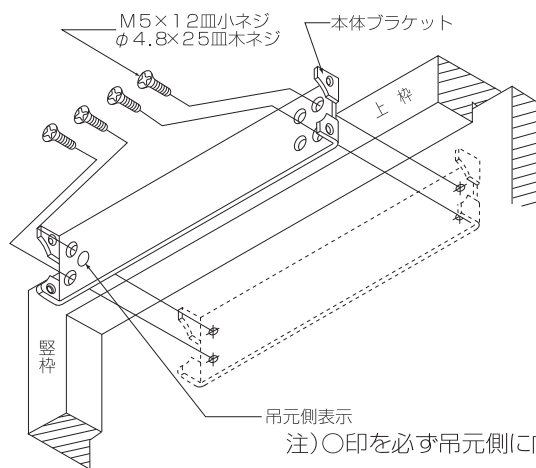
- 添付の取付用型紙を左図①のように上枠面と縦枠面にぴったり当てて、アームブラケットの取付穴の位置を決めてください。(ネジ穴数は4ヶ所です。)
- 次に、左図②のように、戸当り面と縦枠面にぴったり当てて、本体ブラケットの取付穴の位置を決めてください。(ネジ穴数は4ヶ所です。)

3

### 本体ブラケットの取り付け

- 本体ブラケットの○印を吊元側に向けて扉面に取り付ネジ（4本）にて取り付けてください。

**注** 取付ネジは、強く締め付けてください。ゆるいと本体がぐらつき正常な機能を果たさなくなります。



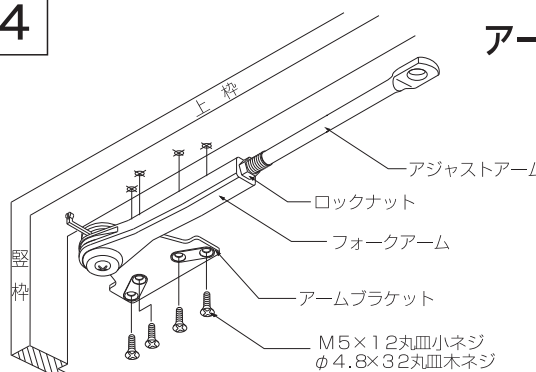
吊元側表示  
注)○印を必ず吊元側に向けて取り付けてください。

4

### アームブラケットの取り付け

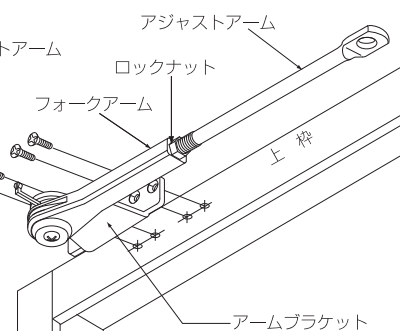
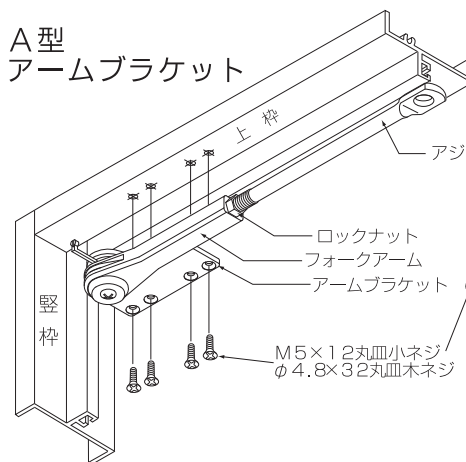
- アームブラケットを上枠面に取付ネジ（4本）にて取り付けてください。
- 本図はストップ付アームを示す。

**注** 取付ネジは、強く締め付けてください。ゆるいとアームがぐらつき正常な機能を果たさなくなります。



#### A型アームブラケット

#### L型アームブラケット

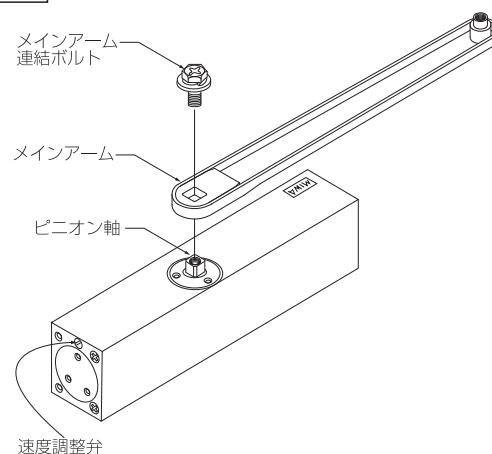


5

### メインアームの取り付け

- 本体の向きは速度調整弁を吊元側に向けてください。
- メインアームは必ず吊元の反対側に伸びるように取り付けてください。
- メインアームをピニオン軸にメインアーム連結ボルトにてしっかり締め付けてください。

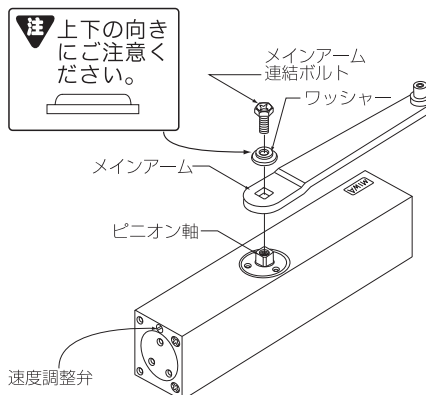
**注** メインアームがピニオン軸に入りにくいときは、ピニオン軸にメインアームの角穴をあてがい、連結ボルトにてねじ込んでください。ハンマー等でメインアームをたたいて入れるとピニオン軸受部を破損し、油もれを起こし正常に機能しなくなります。



### バックチェック付・角度制限付の場合

- 本体の向きは速度調整弁を吊元側に向けてください。
- メインアームは必ず吊元の反対側に伸びるように取り付けてください。
- メインアームをピニオン軸にワッシャーおよびメインアーム連結ボルトにてしっかり締め付けてください。

**注** メインアームがピニオン軸に入りにくいときは、ピニオン軸にメインアームの角穴をあてがい、連結ボルトにてねじ込んでください。ハンマー等でメインアームをたたいて入れるとピニオン軸受部を破損し、油もれを起こし正常に機能しなくなります。



**注** 上下の向きにご注意ください。

**注** ワッシャーの向きを間違えると正常に機能しなくなります。

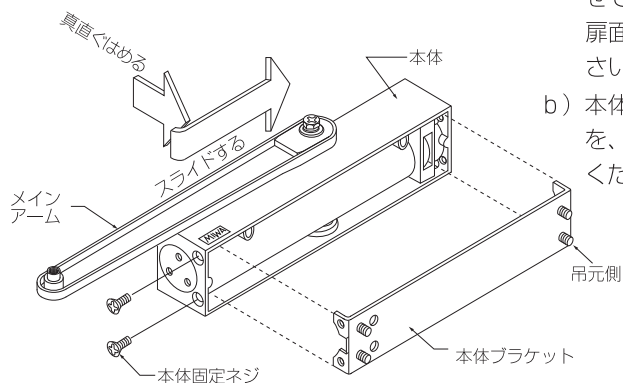
クローザ本体の取り付け、アームの連結、ストップ角度の決め方、速度調整の方法は裏面をご覧ください。

6

## クローザ本体の取り付け

- a) 本体を本体ブラケットにはめ合せて、本体を吊元側に向かって扉面に向かってスライドしてください。
- b) 本体固定ネジ（2本）にて本体を、本体ブラケットに固定してください。

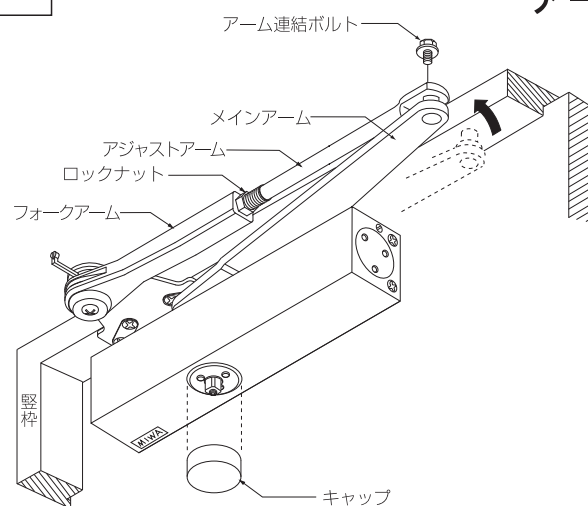
● 左図は本体の裏面から見ておりますので向きにご注意ください。



7

## アームの連結

- a) アジャストアームの先端の穴にメインアーム先端のピンをはめ合せ連結してください。そのとき、フォークアームは扉面または上枠と平行になるようにロックナットをゆるめ、アジャストアームをねじり、長さを調節してください。
- b) 長さを調節後ロックナットを充分締め付けてください。
- c) アーム連結ボルトをしっかりと締め付けてください。
- d) キャップは下からパチッとはめてください。

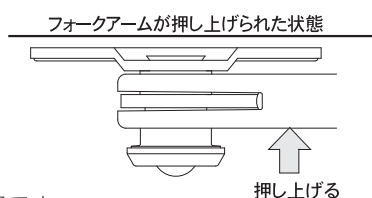


8

## ストップ角度の決め方（ストップ装置付の場合）

- a) クリップ①を引き抜いてから、扉をストップさせたい角度まで開いてください。
- b) その扉を開いた位置でフォークアームのA部分を押し上げてください。抜いたクリップ①の幅の分フォークアームがはまり込みます。このとき、扉をその位置で、前後に5° ぐらい振りながらフォークアームを押し上げると、楽に押し上げられます。

- c) 右図のようにフォークアームが押し上げられていることを確認してください。フォークアームが押し上げられていないままセットネジ②を締めると故障の原因となります。



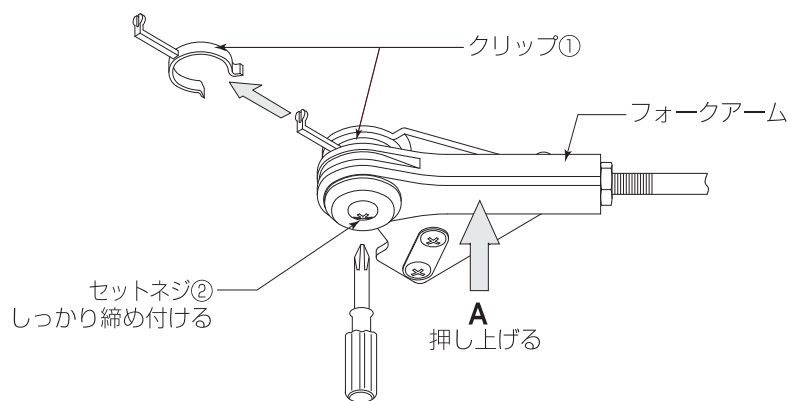
- d) セットネジ②をしっかりと締め付けて完了です。

※1. ストップ角度 80° 90° 100° 115° 125° 140° 160° 175°

※2. なお、再度ストップ角度を変える場合は、

- 扉を開きストップさせておいてください。
- セットネジ②をいっばいにゆるめてください。
- フォークアームA部分を、いっばい引き下げるとストップ装置は解除されます。
- その後は、ストップ角度の決め方の手順 a, b, c, d によって決めてください。

※3. セットネジ②は、外れにくくしてありますので、いっばいにゆるむとかたくなりますが、必要以上に無理にゆるめないでください。



9

## 速度調整の方法

このドアクローザは工場出荷段階で速度調整がされていますので、通常は調整が不要です。もし調整が必要な場合は、次の要領で行ってください。

- a) 調整弁は3つあります。1速弁と2速弁で全体の閉じる速度を調整します。下図のように、調整弁を左に回せば閉扉スピードはやく、逆に右に回せばおそくなります。

はやくなる (⊕) おそくなる (⊖)

## ●第1速度調整弁

1速をはやくしたい場合は左へ回す  
1速をおそくしたい場合は右へ回す

## ●第2速度調整弁

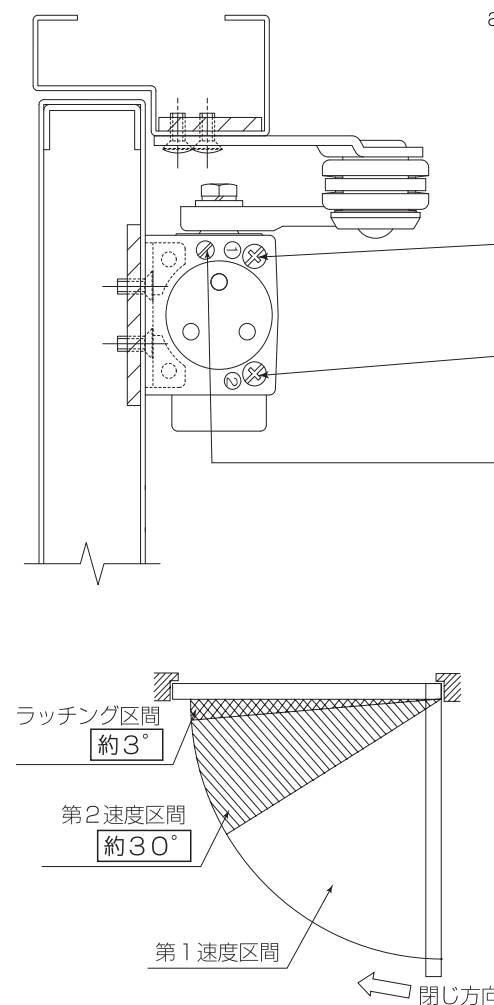
2速をはやくしたい場合は左へ回す  
2速をおそくしたい場合は右へ回す

## ●ラッチング速度調整弁

扉が閉じる寸前の「力」を強くしたい場合は、左に回すとラッチング速度が速くなり強く閉まります。

ラッチング速度

はやくなる (⊕) おそくなる (⊖)



**注** 調整弁は必要以上に回したりしないでください。ゆるめすぎると調整弁がはずれ油もれを起こし正常に機能しなくなります。電動ドライバーは、故障の原因となるため、使用しないでください。

**注** 1型には、ラッチング速度調整弁はありません。